

きらり

市立大町総合病院 広報誌
大町病院

vol.62
2026.7.1

自由に持ちください

特集 診療科紹介 小児科

◆学校医として
子どもたちの成長を支える

◆講師を派遣しています！

◆身体的拘束最小化に向けた取り組み

◆ガーデン部の歩み

◆寄附のご紹介

◆寄り添う医療の緩和ケア
／マスク着用についてのお知らせ

◆介護保険施設の紹介

特別養護老人ホーム銀松苑



写真：身体拘束最小化チームラウンドの様子

多職種が連携しながら、身体的拘束の最小化に取り組んでいます。
(関連記事 7 ページ)



大町病院ホームページ

診療科紹介

小児科

受診方法や診療の実際について説明します！

当院小児科の特色として、1. 発熱外来、2. 発達外来があります。

病院での滞在時間を
短くするために！



1. 発熱外来



院内感染を防ぐことが目的ですが、発熱時は誰もが自宅で休みたいと思います。病院での滞在時間を短くすることも目的です。

病院北側のプレハブ診察室で診療を行っています。



平日

STEP
01

受診予約

8時30分から電話受付を開始し、通常10～11時に受診となります。

STEP
02

『リモート』受け付け+問診票

スマートフォンやパソコンで行っていただいています。大町病院のホームページから【発熱外来はこちら】→【発熱外来事前入力フォーム】と進んでいただき、保険証の確認（撮影してアップロード）、体重、症状などの入力をお願いしています。【図1】

STEP
03

病院到着

到着後はプレハブ横の駐車場で待機していただきます。診察、迅速検査を行い、処方箋をお渡しします。一旦帰宅していただき、検査結果は約1、2時間後に電話で連絡します。追加の処方箋が必要な場合（例：インフルエンザが陽性でタミフル）は、小児科外来に取りに来ていただいています。【図2】【図3】

STEP
04

後日会計

後日請求書を郵送しています。

【図1】



【図2】



【図3】



2. 発達外来



初診今日の2週間前までに
事前書類をお渡しします

STEP 01

受診予約

電話（15：30～16：30）による完全予約制です。

STEP 02

事前書類のお渡し

保護者が記入する用紙、担任の先生に書いてもらう用紙など数種類の書類があります。初診日の2週間前までに小児科窓口にとりにきてください。

STEP 03

初診当日

前半の1時間は臨床心理士が、生育経過やお子さんの性格や特性をチェックする質問を行います。後半の1時間は医師がお子さん、保護者と別々に面談します。

「だれ」が「なにに困っているか」を整理して、その問題点がどうして生じているか意見を述べさせてもらいます。診断を期待される方が多いですが、初回の面談で診断をつけることは困難です。

STEP 04

診療の内容

(Ⅰ) 環境調整しながら、本人の成長を待つ

「本人が困っていること」を除去するように、家庭や園・学校にリクエストします。保護者にペアレントトレーニングを提案することもあります。

(Ⅱ) 作業療法、児の能力検査

問題点が改善しない場合に、こども本人に働きかけることになります。

児の様子や作業の様子をみて、保護者や教員に対処方法の提案や（作業療法）、児の能力測定（能力検査、知能検査）を行います。

(Ⅲ) 心理カウンセリング

本人が、「集中できない」、「怒りのコントロールをしたい」等と明確に訴える場合、個別に行います。

(Ⅳ) 薬物療法

本人に、「ちゃんと寝たい」、「すぐ怒ってしまふのを何とかしたい」、「もっと集中したい」

という希望があれば、睡眠剤や、抗ADHD薬といった薬物療法を行います。原則的には6歳以降になります。

(Ⅴ) 休養、専門施設への紹介

意欲の減退や、起きられない、腹痛、頭痛など身体症状が目立つときは、休養を指示します。体重減少、不安感が強い、摂食障害、自傷行為、脅迫症状が目立つときは、信大病院の子どものこころ診療部、松南病院といった高度専門精神科に紹介となります。

STEP 05

高校生以降について

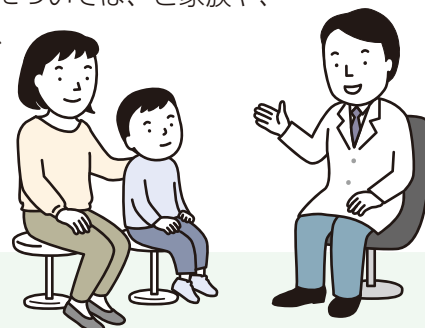
高校生世代になると、本人の成長や画一的な学業（受験）からの解放により、発達外来を卒業していく方が大半となります。

一方で、他人に話しかけられない、なにをすればいいかわからないということを訴え、生きづらさを持ち続けるお子さんが少数ですが一定数います。おそらくこういった方が、『神経発達症』といわれる方だと思われます。逆にいえばこのぐらいの年齢にならないと正確な診断ができないのかもしれません。

子育ての目的は自立と考えられます。「生活費を稼ぐ」といった経済的な面が注目されがちですが、「生活する」（自分の考えを伝える、他人と過ごせる、通勤、通学の移動ができる、食事をとる、家事を行う）ことも含めて、自立ということになると思います。この世代においても「生活する」に支障があるときは精神科への紹介（移行、トランジション）を行っています。あづみ病院精神科や、精神科クリニックに紹介しています。

療育施設について

療育施設を利用したいので病院を受診したいという方もいますが、療育施設－医療機関間で特に提携していることはありません。療育施設のご利用については、ご家族や、本人のニーズで、家庭で決めていただくこととなります。



学校医として、 子どもたちの成長を支える

安心して学び、成長できる
環境をつくるために

役割・活動を紹介します



市立大町総合病院 総合診療科
大町市国民健康保険八坂診療所
田川

みなさんは「学校医」と聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか。「健康診断のときに診てもらうお医者さん」を思い浮かべる方が多いと思います。

今回は私が担当する八坂小中学校の学校医を例に、その役割・活動を紹介します。

学校医とは

学校医は、児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、健康面から学校を支える医師です。病院や診療所で診察するだけでなく、学校という生活の場に関わり、子どもたちの成長や学びを支える役割があります。

学校医の仕事

学校医の仕事としてよく知られているのは、年に一度の健康診断です。問診票、身長や体重の推移、心臓や呼吸の音、背骨や皮膚の状態などを確認し、必要に応じて医療機関への受診を勧めます。

また、インフルエンザなどの感染症が流行したときには、出席停止や学級閉鎖について学校と相談することもあります。さらに、学校の環境衛生や子どもたちの心身の健康について、養護教諭をはじめとする先生方から相談を受けることも大切な役割です。

実際の活動

八坂小中学校は児童・生徒数が比較的少なく、山村留学で親元を離れて生活している児童・生徒もいます。一人ひとりの様子を丁寧に見やすく、先生方とも顔の見える関係を作りやすい特徴があります。その特徴を活かし、主に養護教諭の先生を窓口定期的に学校と連絡を取り、学校にも訪問して、相談しやすい関係づくりを心がけています。

その背景には、子どもたちを取り巻く課題が、病院を受診するような病気だけにとどまらないという現状があります。生活リズムの乱れ、アレルギー、発達特性、心の不調、不登校、家庭環境の変化など、さまざまな要因が健康や学校生活に影響します。学校医として、先生方や保護者、必要に応じて医療機関や行政などの関係機関と協力し、子どもたちを支えることが大切だと感じています。

その活動の一環として、昨年度は保護者と教職員を対象に、子どもたちの性の発達に大人としてどのように関わるかをテーマに、講演と意見交換会を行いました。保護者や先生方の相談にのることも、学校医の大切な役割の一つと考えています。



これから

学校医には、健康診断を行うだけでなく、子どもたちの「からだ」と「こころ」、そして生活全体を見守る視点が求められます。子どもたちが安心して学び、成長できる環境をつくるために、学校医として学校と地域をつなぐ役割をこれからも果たしていきたいと思います。



講師を 派遣しています！

医療専門職が
講演します！

お気軽にご相談ください

市大町総合病院では、様々な健康上の悩みや病気、不安に感じていることなどについて、講演会の講師を派遣しています。

認知症予防をはじめ、各種がん、生活習慣病、口腔ケアなど、さまざまなテーマについて、医師・看護師・助産師等の医療専門職が講演を行います。地域での勉強会や学校の授業、企業様主催のイベント等へ講師派遣をさせていただいております。

病気に対する不安や予防・改善方法など、医療の専門家に聞いてみたいことがありましたら、お気軽にご相談ください。

講座一覧や申込方法等については、ホームページに掲載しています。



■お問い合わせ

総務課人事係 0261-22-0415



身体的拘束 最小化に向けた取り組み

患者さんの安心と
「尊厳」を守ります

安心して療養できる病院づくりを進めています

当院では10年以上前から身体的拘束の最小化に取り組んできました。しかしこれまでは、安全確保を優先する中で、慣習的に身体的拘束が行われていた場面もありました。

2024年の国の制度改正をきっかけに「身体的拘束最小化チーム」を立ち上げました。身体的拘束は“原則おこなわない”という方針のもと、患者さんの安心と尊厳を守るための取り組みを病院全体で強化しています。

その取り組みとして、職員の拘束用具装着体験や、外部講師による拘束をしないケアの勉強会を行いました。

身体的拘束最小化チームが患者さんのベッドサイドラウンドをおこなうことで、患者さんの不安や苦痛への理解が深まり、日々の関わり方にも大きな変化が生まれています。

また、これまで慢性的に使用されていた車いすベルトについても全て見直し、現在では原則として使用していません。職員の意識改革も進み、多職種が連携しながら、身体的拘束最小化に取り組んでいます。その結果、身体的拘束を行う患者さんは大幅に減少しています。

今後も、患者さんやご家族、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、「身体的拘束ゼロ」を目指し、安心して療養していただける病院づくりを進めてまいります。



癒しガーデン ～ 小道 ～



ガーデン部
リーダー
笹澤裕樹先生

ガーデン部のあゆみ

- 2020年 ガーデン部発足
- 2022年 ガーデンの工事（南棟横）
名称決定【癒しガーデン～小道～】
- 2023年 ガーデン脇に水道設置
- 2026年 【どうぞのベンチ】寄贈（ALPおっさんの会様より）



パッション
フルーツの花



ガーデン部は、総合診療科の金子先生の呼びかけにより発足しました。

「入院患者さんの癒しとリラックス」や「認知機能低下予防」を目的に、多職種のスタッフが集まり活動を開始しました。

車いすでもガーデン内を移動できるよう、関係業者やサポーターの会の皆さまの協力を得ながら、タイル貼りを行いました。当初は、ジョウロを使って何度も往復しながら水やりを行っていましたが、ガーデン脇に水道を設置し、タイマーによる定期散水が可能となったことで、スタッフの負担が軽減されています。

現在、このガーデンは患者さんのリハビリ散歩コースとして活用されているほか、部員同士の交流の場としても親しまれ、当初の目的どおり病院の大切な場所となっています。

また、寄贈いただいた「どうぞのベンチ」は、リハビリで訪れた患者さんの休憩場所として活用されています。

ガーデン部リーダーの笹澤先生の指導のもと、今年もパッションフルーツ栽培に挑戦します。今年は、花づくり活動事業補助金を活用し、苗などの購入費用に充てながら、より充実したガーデンづくりを進めていく予定です。

これからも、患者さんやスタッフにとって心安らぐ場所となるよう、四季を感じられるガーデンづくりに取り組んでいきます。



2026.6.4 ウクレレ部と
「花と椅子を囲んでの会」を開催



患者さんとリハビリスタッフが一緒にガーデンを訪れ、野菜の収穫や花の観賞をします。



草取り整備中



ラベンダースティック作り

寄附のご紹介

心より感謝申し上げます



ALPおっさんの会 様

ALPおっさんの会様より、手作り木製ベンチをご寄附いただきました。

「ALPおっさん "どうぞのベンチ" プロジェクト」として、当院だけでなく市内外の公共施設等へ寄贈されています。

ご寄附いただきました4台のベンチのうち、3台を病院バス停、1台を南棟横ガーデンに設置使用させていただいております。



東洋羽毛北信越販売株式会社 長野営業所 様

東洋羽毛北信越販売株式会社長野営業所様より、車椅子1台のご寄附をいただきました。

東洋羽毛様は、医療従事者支援のため、車椅子や医療用物品などの寄附を全国的に行っています。

ご寄附いただきました車椅子は入院患者さんのケアに使用させていただいております。



どちらも長く大切に使用させていただきます。
心より感謝申し上げます。



寄り添う医療の緩和ケア

『よくいきばなしin大町』についてご案内します。

当日佐々木慈瞳先生はお越しになりませんが、病院スタッフ主催で開催します。慈瞳先生から【^{よいし}414カード】を使うことが提案されました。

【^{よいし}414カード】の目的は、「自分の思いを大切にできて自らの生き方(死に方)を選べる社会をつくる。そして、誰もが死生観を語り合える文化を作ること」とされています。

60代以上は、自分と残される家族のために語ること。30～50代は、自分の生き方と親や子供と語ること。20代以下は、自分の生き方のために語ること。

この地域で生きていくにあたり、自らの生き方を語り合う文化の場所として、大町病院を活用していきたいと思います。第一回開催の反応は、次回の広報誌でご報告いたします。

よくいきはじめ — in大町 —

病気があってもなくても、
欲張りで**粹**な自分らしさを
語り合い分かり合って**善く生きよう**
そんなふうに**良く逝き**きったタネは
誰かの**よくいき**に芽吹きます

日時 2026年6月27日(土) 14:00～16:00

場所 市立大町総合病院講堂「さくら」

主催 市立大町総合病院 緩和ケアチーム会

問い合わせ 0261-22-0415 (代表)

院内での マスク着用 についてのお知らせ



当院ではこれまで、院内でのマスク着用をお願いしてまいりましたが、2026年4月27日より、体調や感染状況に応じた着用をお願いする運用へ変更いたしました。

マスクの着用は原則として個人の判断となりますが、周囲への感染予防へのご配慮をお願いいたします。

なお、診療内容や感染状況により、職員からマスク着用をお願いする場合があります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

■ 症状のない方

発熱や風邪症状などがいない場合、院内でのマスク着用は必須ではありません。

必要に応じて、ご自身の判断で着用ください。

■ 症状のある方

発熱、咳、のどの痛み、鼻水などの症状がある場合は、周囲への感染予防のため、院内ではマスク着用をお願いいたします。

■ 感染症が流行している時期

地域や院内の感染状況に応じて、一時的に「院内でのマスク着用」をお願いする場合があります。その際は、院内掲示や病院ホームページ等でお知らせいたします。

■ 引き続きご協力をお願いします

感染予防のため、引き続き以下へのご協力をお願いいたします。

- 体調不良時のマスク着用
- 咳やくしゃみをする際の咳エチケット
- 手洗いや手指消毒

介護保険施設の紹介



大町市

特別養護老人ホーム銀松苑

高齢化の進展が著しいこの地域において、最後まで住み慣れた地域で生活するためには施設サービスの活用がひとつの選択肢となります。地域の介護関連施設をご紹介します。



施設の概要

在宅での生活が困難な方に向けた定員68名の入居施設になります。食事や入浴、レクリエーションなどの生活サポートや、機能訓練、健康管理などをご利用いただけます。共有のリビングスペースを取り囲むユニット型（全室完全個室：新特養）のため、プライバシーが保たれます。



施設の特徴

特養を中心にケアハウス・デイサービス・ヘルパーステーション・ショートステイを併設した複合施設です。同一敷地内で多様なサービスを提供できるため、利用者様の心身状態に応じて切れ目のない包括的ケアを行うことができます。住まい・通い・泊まりを一体的に支えることで、安心して暮らし続けられる環境を整えています。

大町病院との関わり

大町病院には当施設の嘱託医をお願いしており、日常的な連携のもと、ご利用者の健康管理を行っています。受診や入院時の連絡・情報共有を通じて、医療と介護が切れ目なくつながる体制を整えています。地域の皆さまが安心して暮らせる支援を、医療機関と共に実践しています。

地域の皆さんへ

「ここで過ごせてよかった」と感じていただける日常づくりを大切にしています。職員一人ひとりが心を込めて向き合い、笑顔や会話を通じて、その人らしい時間を支えています。地域に根ざした施設として、人と人とのつながりを大切にしながら、あたたかな暮らしを支え続けます。

特別養護老人ホーム銀松苑



所在地／〒398-0004 長野県大町市常盤6850-24

電話／0261-26-3388

サービス内容／特別養護老人ホーム68名
ショートステイ 20名

ホームページURL：

https://ginshoen.or.jp/tokuyou_ginshoen/tokuyou/



2026年7月1日

市立大町総合病院 外来診療表

休診情報はこちら



- 受付時間 8:00～11:30 ■ 休診日 土曜日・日曜日・祝日
■ 診療時間 9:00～17:15 ※診療科によって、受付時間・診療時間及び診療日が異なる場合があります。

診療科		受付・診療時間		月	火	水	木	金
総合診療科（初診外来）		午前	—	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
内科	一般外来	午前	【予約制】	縣 翔子	関口 健二 / 笹澤 裕樹	縣 翔子	田川 哲也 / 菊地 一平 / 縣 翔子	金子 一明
		午後	【予約制】	大津 嘉之 / 木村 颯汰		丸山 夏樹	井澤 将太	柿下 悠
	専門外来	午前	【予約制】	金子 一明 (緩和ケア外来)				
		午後	【予約制】			駒瀬 裕子 (禁煙外来)		担当医師(第1・3週) (ものわずれ外来)
呼吸器アレルギー内科		午前	【予約制】	柳沢 克也 ☆		曾根原 圭 ☆		藤本 圭作
		午後	【予約制】		駒瀬 裕子	駒瀬 裕子		
感染症内科		午後	【予約制】			笹澤 裕樹(ワクチン/感染)		
循環器内科		午前	【予約制】	山本 勇輝 ☆		門田 真 ☆	伊澤 淳 ☆	加藤 太門 ☆
腎臓内科		—	【予約制】	新津 義文	新津 義文	新津 義文		
血液内科		—	【予約制】	新津 義文	新津 義文			
糖尿病・内分泌内科		—	【予約制】		森 淳一郎 ☆(第1・3・5週)		関戸 貴志 ☆	
漢方内科		—	【予約制】		北原 英幸	北原 英幸		北原 英幸(第2・4週)
リウマチ・膠原病内科		—	【予約制】		北原 英幸	北原 英幸		齊藤 圭介 北原 英幸(第2・4週)
神経内科		—	【予約制】					森泉 輝哉 ☆
小児科	一般外来	午前	—	松崎 聡	土田 真由香	松崎 聡	信大医師 ☆	土田 真由香
	予防接種外来	午後	【予約制】	土田 真由香	松崎 聡			
	乳児健診外来	午後	【予約制】					松崎 聡 (第2週) 土田 真由香 (第4週)
	発達外来 慢性疾患外来	午後	【予約制】	土田 真由香	松崎 聡	土田 真由香	土田 真由香 (第2・4・5週)	松崎 聡
外科	初診外来	午前	—	平賀 理佐子(受付10:00まで)	高木 哲	平賀 理佐子	平賀 理佐子	平賀 理佐子(受付10:00まで)
	一般外来	午前	【予約制】	高木 哲	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲
		午後	【予約制】		担当医師	担当医師		
	心臓血管外来	午後	【予約制】					信大医師 ☆(第1・3・4週)
呼吸器外科外来		午前	【予約制】		信大医師 ☆(第1・3・5週)			
整形外科		午前	(受付10:30まで) 【予約制】	金子 稔	伊藤 仁	伊藤 仁	金子 稔	信大医師 ☆ (受付10:00まで) 金子 稔
脳神経 外科	一般外来	午前	—	青木 俊樹	信大医師 ☆	青木 俊樹	青木 俊樹	青木 俊樹(受付10:30まで)
		午後	【予約制】	青木 俊樹		青木 俊樹		
	頭痛・めまい外来	午後	【予約制】					青木 俊樹
皮膚科		午前	—	信大医師 ☆		信大医師 ☆	信大医師 ☆	
泌尿器科		午前	—	永井 崇 / 野口 渉	永井 崇 / 遠藤 汀奈 (受付10:30まで)	野口 渉 / 遠藤 汀奈 (受付10:30まで)	永井 崇	野口 渉 / 遠藤 汀奈
産婦人科		午前	—	日比 絵里菜	深松 義人(婦人科のみ)	日比 絵里菜	深松 義人(婦人科のみ)	日比 絵里菜(助産師外来)
		午後	【予約制】	日比 絵里菜	深松 義人(婦人科のみ)	日比 絵里菜		日比 絵里菜(助産師外来)
眼科		午前	【予約制】	平野 隆雄 ☆		知久 喜明 ☆		伊藤 駿 ☆
耳鼻咽喉科		午後	(診療14:00から)	信大医師 ☆(受付15:30まで)		信大医師 ☆(受付15:30まで) (補聴器外来あり)		
形成外科		午後	(診療13:30から)		信大医師 ☆(受付14:30まで)			
特殊歯科・口腔外科		—	【予約制】	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志

- 医師名に記されている☆印は、派遣医師となります。
■ 受付時間外で予約のない方は、あらかじめ電話にてお問い合わせください。
■ 予約の変更等は、15時から17時に各外来へお問い合わせください。※産婦人科のみ13時から15時となります。
■ 診察券は、全科共通です。再発行（紛失等）は、有料となります。
■ 再来受付機は、健康保険の確認が3か月以上できていない場合はご利用できません。受付の際は、「③外来受付」にお越しください。

理 念

私たちは、地域に密着した温かく誠実な患者に寄り添う医療を実践します

基本方針

- 市民の健康増進、疾病予防に努めます
- 地域包括ケアシステムの中心を担う病院として、医療・介護・福祉の円滑な連携を推進します。
- 市民の皆さんが安心して暮らしていける医療機能の整備・連携を図ります。
- 公共性を確保し、合理的で健全な病院経営を行います。



市立大町総合病院

OMACHI MUNICIPAL GENERAL HOSPITAL

広報誌 きらり大町病院

■ 発行 市立大町総合病院 ■ 編集 市立大町総合病院 広報委員会

〒398-0002 長野県大町市大町3130番地

TEL 0261-22-0415 (代)

URL <https://www.omachi-hospital.jp/>e-mail hospital@hsp.city.omachi.nagano.jp

Instagram



Facebook



X